

174.身体合併症を伴う精神科病棟での身体拘束の実態と身体拘束最小化への課題

研究の概要

精神科身体合併症病棟で身体拘束を実施した患者を対象に、疾患や診療科別に分析し身体拘束の実態を明らかにすることで、身体拘束最小化へ取り組むための研究です。

研究の目的と方法

身体合併症を伴う精神科病棟での身体拘束の実態を明らかにすることで、身体拘束最小化へ向けた課題を明らかにするための研究です。熊本医療センター精神科病棟に入院し、治療上身体拘束が必要となった患者さまを対象にその理由や経過をカルテや台帳よりデータを収集し調査します。

本研究の参加について

該当する患者さまの電子カルテの情報を、当方で集計させていただきますので、改めてアンケートに答えていただいたり、同意書をいただいたりすることはございません。ご参加の意思を改めて確認することもしません。個人情報はずべて匿名化して報告させていただきますので、個人のプライバシーは守られています。収集したデータは研究終了後、速やかに破棄いたします。万一、この調査に参加したくないという患者様がいらっしゃいましたら、末尾の問い合わせ先にご連絡いただきますと集計から外させていただきます、調査を中止させていただくことが可能です。ただし、学会発表後や論文報告後は集計から外すことは現実的に不可能になります。

調査する内容

性別、年齢、精神科診断、身体合併症診断、身体拘束理由、診療科、手術の有無、使用した薬剤、入院日数、などです。

調査期間

研究対象期間：令和 3年 9月 1日～令和 3年 11月 30日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 5年 3月 31日まで

研究成果の発表

結果を学会で発表したり、論文に投稿させていただきます。

研究代表者

7南病棟 看護師 荒川 唯

当院における研究責任者

7南病棟 看護師 荒川 唯

問い合わせ先

860-0008

熊本市中央区二の丸1-5

国立病院機構熊本医療センター 7南病棟 看護師 荒川 唯

電話 096-353-6501 (代表)